

## 『前提条件の整理・確認』

～第1回目で出された主な論点を踏まえて～

【概要と経緯を正しく理解する】	要点(キーワード)	確認
①はじめりの背景と経緯は？ (どういう経緯と目的ではじまったのか)	漁港が必要な理由／漁業者の要望 陳情(漁業者、地域住民) 市議会 鎌倉漁港対策協議会 長期化の理由	
②現在、何が、どの段階まで進んでいるのか？ (調査段階？計画段階？実施段階？)	計画の段階についての共通認識 今はどの段階なのか	
③今後のスケジュールはどこまで決まっているのか？ (具体的な締切りや期限はあるのか？)	WS 事業化まで 事業開始後 漁港の完成後	

【制約条件を検討する】	要点(キーワード)	確認
④すでに決まっていることは何か？ (住民の合意があれば変更可能な事項はなにか)	総合計画 都市マス 漁港計画	
⑤制約条件は何か？ (上位計画や予算の制約などから変更ができないことがあるのか)	漁港計画とは 予算について	
⑥計画は、最終的にいつ、誰によって、どのように決定されるのか？ (意思決定の透明性は確保されているのか？)	建設計画の進め方 計画決定 いつまでに	

**【住民参加による話し合いの場〈ワークショップ〉での論点を探る】**

**要点(キーワード)**

**確認**

<p>⑦鎌倉市が住民参加による話し合いの場として〈ワークショップ〉を取り入れたいと思った理由は何か？ (事業者としての動機や理由はどこにあるか)</p>	<p>これまでの手法 (市民説明) ワークショップ (市民参加) なぜ、今なのか</p>	
<p>⑧事業について、WS参加者はどれだけの情報や知識を持っているか？ (偏った情報や思い込みはないか、適切な判断ができる状態にあるか)</p>	<p>これまでの陳情 鎌倉漁港対策協議会での議論 市議会での審議 その他</p>	
<p>⑨WS参加者の事業への関心や興味はどこにあるか、共有できているか？ (話し合いのテーマが確認・共有されているのか)</p>	<p>【本日、第2部で議論して頂きます。】</p>	
<p>⑩WS参加者間の相反する意見や価値観を解決する糸口はどこにあるか？ (意見や価値観の相違の原因は、利害関係か、利用関係か。現状維持による問題はないか)</p>		
<p>⑪WS参加者による話し合い〈ワークショップ〉で、何を目標にするか？ (可能性と限界は何か？どうしたら有意義な成果が出せるか)</p>		

**【疑問・提言に関して】**

**要点(キーワード)**

**確認**

<p>⑫参加者に偏りがないか、名簿を公開すべきではないか？ (市の情報公開についてはどうか？)</p>	<p>公募のやり方 開催周知の期間 推薦参加の対象者 市長、部長の参加</p>	
<p>⑬環境保全、アセスメントをいつ実施するのか？</p>	<p>既往の環境調査 事業開始前に行う調査 環境アセスメントの実施 生活環境 (悪臭・交通)、景観への影響</p>	
<p>⑭防災対策を優先すべきではないのか？ (他事業を含めた優先度をここで議論できない理由)</p>	<p>市の防災計画 予算について 議論する場はどこか</p>	

## 【補足】ワークショップ達成目標の段階的考え方（例）

